

平成 23 年度 事 業 計 画

特定非営利活動法人 雨岳文庫を活用する会

1 事業活動方針及び事業の概要

私的団体「雨岳文庫」の所有する山口家住宅及びその敷地、歴史資料、民具・農具等を利用・活用し、以下の活動を行う。※基本的に、以下の活動は毎年継続的に実施する。

(1) 所蔵文書・歴史資料の調査・研究ならびに関連資料の収集事業

- *内 容 ・幕末の旗本領地主とその地代官所である山口家が所蔵する文書の調査研究
⇒【関連事業】(3) イ
- ・自由民権史料の活用等 ⇒【関連事業】(3) エ
- ・大正から終戦直後の農政資料の調査・研究と近在農家への聞き取り調査
- *従事者等 近現代史研究者・学会、農政史研究者・学会、農村の近代化に関心のある社会学・地理学・農学等の研究者、歴史・文化に関心のある人、特定非営利活動法人 雨岳文庫を活用する会（以下、NPO 活用する会）の会員

(2) 歴史的資料としての山口家住宅、雨岳文庫所蔵資料、家具、書画、什器、民具・農具等の保存・公開事業

- *内 容 ・山口家住宅の調査および復元計画の検討
- ・所蔵資料の調査、目録作成
- ・山口家住宅の歴史と構造についての現地調査と文献調査
- *従事者等 建築史学者・学会、民俗学者・学会、近世を中心とした歴史学の研究者、歴史や古民家に関心のある人および団体、NPO 活用する会の会員

(3) 講演会・研究会の開催など、研究成果の公開・発表事業

ア 上記(1)(2)の調査・研究等についての成果に関する論文発表等

イ 講演会およびフォーラムの開催（年1～2回程度）

- *内 容 史料の整理を兼ねた史料講読会・勉強会（講読勉強会をしながら史料を読む）
- *講 師 川島敏郎氏
- *期 日 未定
- *場 所 山口家住宅 奥の間
- *対 象 者 歴史を中心として文化的な事柄に関心のある人（50名程度）
- *従 事 者 NPO 活用する会の会員

※可能であれば、他にも講演およびフォーラムを1回程度実施

ウ 資料の展示（資料館での展示）

- *内 容 第4回特別展示「大山道で各地を結ぶ街づくり（仮称）」（大山二の鳥居と間部領地代官所である山口家住宅を中心とした展示）
- *期 間 平成23年9月～平成24年5月
（平成23年5月までは第3回展示）
- *場 所 雨岳文庫資料館
- *対 象 者 伊勢原市民、神奈川県民のみならず、幅広い地域の人
※ 出来るだけ市外の人を伊勢原市に向ける一助とする
- *従 事 者 展示については15名程度、開館要員は一日3名～5名（開館時以外も）
主として、NPO活用する会の会員

エ 所蔵資料の整理およびウェブ上での公開

- *内 容 すでに、雨岳文庫、神奈川工科大学等のウェブ上で公開しているデータベースの整備（各資料の見出し文の整備）とデジタルアーカイブの公開を控える資料の検討
- *対 象 者 伊勢原市民・神奈川県民を含むすべての国民のうちの歴史に興味を持つ人および世界中のネット利用者
- *従 事 者 NPO活用する会からは野崎昭雄氏を長として、NPO活用する会会員ほか数名のスタッフ

(4) 環境保全、エコロジーを意識した環境の整備・街づくり事業

ア 山口家住宅及びその敷地等を利用した環境・街づくり

- *内 容 雨岳文庫の梅林、上行寺（宝井其角、丸橋忠也、大橋宗桂、桂川甫周などの墓所）、太田道灌の墓などと一体化した歴史的・観光的環境保全及び街づくりに協力する
 - ①雨岳文庫クラブによる散策路整備等
 - ②梅の花の時期、菜の花の時期に散策路を開放※観光ボランティアガイド&ウォーク協会の春の観光ツアーはここに位置づける
- *対 象 者 伊勢原市民、神奈川県民のみならず、幅広い地域の人
※出来るだけ市外の人を伊勢原市に向ける一助とする
- *従 事 者 NPO活用する会より10名～15名、（観光ボランティア協会にボランティア数名をお願いする）

イ ニホンミツバチの訪花する環境づくり

- *内 容 ①持続的な蜜源植物の栽培
 - ・無農薬による栽培 ・雑草マルチによる栽培 ・輪作による持続可能な栽培
- ②ニホンミツバチの訪花する環境づくり
 - ・蜜源植物として、春は菜の花・レンゲ・クローバー、夏はひまわり、秋

はコスモスなど季節感あふれる植物を栽培 ・日本の環境に適したニホンミツバチの飼育

③人々が楽しめる雨岳景観（大山を取り込んだ景観）の創出

・大山の雄大な景観を生かした景観づくり ・人々が花々を観察し、楽しめる景観づくり、地域の憩いの場となる景観づくり

④菜の花、ヒマワリ等の実から油を絞る体験学習会を通して、食料油やバイオジェール燃料への利用を考える

*期 日 等 随時

*場 所 西富岡の畑（伊勢原市街から七沢方面へ向かう道を、日向方面へ分かれた県道沿い）

*従事者等 この地域に住む人、野の地を訪れる人、東京農業大学関係の有志、NPO 活用する会の会員

(5) 社会教育的利用

ア 農家の生活体験と自然の中での遊びなど

*内 容 歴史的茶園を含む山口家住宅の周囲の農地で、伝統的な農機具なども使った農家の生活体験学習の会を実施

周囲の野の食材を利用した調理を学習

収穫自体を期待するのではなく、収穫時のいろいろな食べ方や、周りの木の実や、草などでの遊びを楽しむ

農業体験等では、随時、活用する会の会員である東京農業大学 藤垣教授(育種学) より、いろいろな草や木、農作物などについてのお話を聞く

①お茶の葉を摘んで、お茶を作る [期日 5月?日]

・山口家住宅の周囲にある、伊勢原で唯一つ残る自園茶の畑でお茶を摘み、炭を使った焙炉（ほいろ）で揉んで製茶 ・少し早めに乾かして試飲 ・木の芽の天ぷらや蕎麦の佃煮等の野の植物を食べたり調理法を学ぶ（管理栄養士、近隣の主婦）

②芋ほりや栗拾いとどんぐり細工や竹細工 [期日 10月後半]

・山口家住宅の周囲にある雨岳文庫の畑で芋掘りや栗拾いをした後、どんぐりのお話とどんぐり細工、竹とんぼ等の竹細工 ・お昼は、栗の炊き込みご飯や芋のお菓子 ・料理の解説（管理栄養士、近所の主婦）

③「相模人形芝居」公演（今年度の実施は検討中）

・国の重要民俗文化財で神奈川県指定民俗文化財の「相模人形芝居」公演 ・人形の解説と人形との交流

*対 象 者 自然や農家の生活に関心のある家族

※高齢者、小さい子ども歓迎

※各回 20 家族程度

*従 事 者 雨岳文庫クラブの農業班を中心として、同クラブの料理研究グループの7、8名が参加予定、NPO 活用する会の会員

イ 子どものための お茶の頂き方作法体験（年2会程度）

- *内 容 雨岳文庫離れの茶室を使って、子どもを中心にしたお茶のお話やお茶道具のお話、お茶のお手前の見学とお茶やお菓子の頂き方の実習
- *期 日 未定（平成21年度は、平成22年3月7日と3月28日に実施）
- *場 所 雨岳文庫 離れ
- *対 象 者 子どもを中心とした家族
※各回15名程度（1日2回）
- *従 事 者 NPO活用する会の会員、雨岳文庫クラブ

(6) 上記以外の研修会・懇談会・視察受入れ等

- *内 容 ①NPO活用する会の会員、利用登録団体、市民活動団体、福祉団体、公共団体等の研修会、意見交換会、発表会、啓発的教室 等の受入れ
②研究者その他よりの取材、視察 等の受入れ

2 その他

(1) 広報活動等

- *内 容 会報発行、イベントなどのチラシおよび案内状配布等
- *期 日 等 随時
- *従 事 者 NPO活用する会事務局員等（2人～4人）

(2) 運営・会議活動等

- *内 容 運営の為の通信、会議等
- *期 日 等 通年
- *対 象 者 NPO活用する会理事および事務局員